

日本の危機はどこにあるか

～世界の英知から取り残されつつある「借り物知」社会日本の衰退～

2008. 9. 5

園 山

……それは軍事敗戦後安全な水車メカニズムのつもりでアメリカの原発型証券、金融、資本市場メカニズムを導入した結果、チェルノブイリ放射能被曝によって日本の誇ってきた伝統的政治、財政、金融、学術、教育、社会……から国全体の統治メカニズムが汚染され、分断され、去勢され脳死し迷走をはじめ、未来投資を怠り、戦略エネルギーが涸渇し、次世代遺伝子にまで影響が及び始めていることにある。

1. アメリカの原発型証券、金融、資本市場メカニズム発展の歴史

(1) 原型モデル……イギリス南海バブル事件 (1720 年)

国家そのものが株価を操作し詐欺的行為によって投資家を裏切ってしまった株式市場メカニズムの欠陥露呈……株式システムの一時的凍結

(2) 封じ込められた株式投資、投機エネルギーを再活用して成功したアメリカ独立、建国後の証券、金融、資本市場発達の歴史

……産業・金融一体投機エネルギーの爆発と制御の繰り返し

……南北戦争(1865 年)…証券金融…other peoples money…antitrust
欠陥表面化…独禁法とセット FRB(1914 年)…株式市場過熱(1929)…制御
できなくなった欲望資本主義

(3) 自然科学・社会科学一体投機活用原発型証券、金融、資本市場メカニズムの確立 1934～1951

大恐慌—ペコラ委員会—証券取引法制定—証券規制インフラメカニズム

1929年 1932年 1934年 ～ 1951年

- ペコラ委員会 大恐慌の原因解明、証券と金融の異常接近暴発と詐欺的行為横行による **over speculation** の発生というメカニズムの欠陥解明(それは不正の摘出だけではない)
- 証券取引法第2条 国家が崩壊する危険……投機エネルギー……証・金無原則結合……スパイラル連鎖的暴発
証券・金融臨界事故防止のための国家規制 (1934年) ……銀・証分離と Reg.T FRB(証券担保掛目)、10b-5 (臨界事故防止) (1942年)、証券ハウイ判決 (証券=工夫によって収益の上がるツール=エネルギーのある原子核=ウラン) (1946年)、アコード(金利メーター正常化)(1951年)
- 1930年代以降急速に発達した自然科学(原子力)社会科学(証券・資本市場メカニズム)一体の経済メカニズム……戦略エネルギーの先取り
州 → 連邦 → 地球 → 宇宙へと拡大する爆発力

(4) 原子力発電所設計原則と同じ考え方に立つアメリカ型証券、金融、資本市場メカニズム

この証券・資本市場メカニズムの基本設計哲学は、巨大なエネルギーを爆発させる原発の設計理念に通じている。

- 国家基盤の存立をかけた「公益」軸
- 発電エネルギーを内在した元素(株式会社)を束ね
- 分裂、増殖、融合作用の連鎖によってより大きな爆発力を創出

(ROE、税金……)

- ・暴発による国家崩壊を防ぐための強制制御の法則 国家保護のため
regulation(Not 不正排除)

(5) 武器として自然科学・宇宙の原子力エネルギーを使いこなす動物頭脳集団が作り上げた株式市場メカニズムの爆発力活用国家

……新しい出力 \oplus 副作用、資本コスト \ominus > ネット出力

2. アメリカ原発型 証券、金融、資本市場メカニズムの活躍と失敗

1951~1975~2008

- ・1951年アコード・金利自由化後 1975年メイデー…証券、金融、資本市場+ドル通貨一体→ドル基軸通貨株式資本主義覇権体制確立 → 冷戦克服 → 2000年環境問題の壁に
- ・2007年 サブプライムトラブル発生……原発・廃棄物処理型金融汚染物質の証券化拡散による信用不安発生……相対、私募取引の適用除外など規制緩和の失敗
- ・2008年 転機を迎えたメリカ型マネー資本主義市場経済メカニズム

3. 一気に国際経済競争力を高めた中国型社会主義市場経済メカニズムの出現

……世界の实物経済センターとしての地位を固めつつある国家計画型市場経済循環メカニズムの驚異的発展……1840年 阿片戦争 → 1949年 中華人

民共和国 → 2000 年 社会主義市場経済メカニズム基盤確立

4. 日本の証券、金融、資本市場の問題

(1) 村の水車型インフラシステム（性善説 資金ベース 水循環メカニズム）のまま原発型アメリカの証券・金融、資本市場メカニズムを結合

- …新しい証券法導入 1951 年……間接金融型行政法インフラメカニズムで対応
- …証券市場を産業・資本エネルギー創造発電所ではなく、株式の流通市場として限定導入
- …資本市場抜きの「抜け殻証券」投機流通市場としての証券市場が発達
- …1980 年代 土地、証券、金融臨界事故……バブル発生
- …原発型制御機能（米法 Reg.T 10b-5）欠落のまま総量規制で対応
- …バブル崩壊 トバシ、零金利、財政赤字、デフレ……

(2) 証券、金融臨界事故発生原因解明もないまま国家の中核頭脳機関（政治、証券、金融、資本市場、財政、学術、社会システム……）が放射能被曝、原子力アレルギー、被爆去勢社会を引きずりながら歩兵玉砕、思想・言語・金融メカニズム崩壊、クリーンな村の水車経済社会へと逃避迷走中……国際化、宇宙化、原子力化する世界の知的動物集団の群から孤立

5. バブル崩壊後、原因不明のまま破壊されつつある日本の国家の頭脳機能の危機

それは天動説、村社会天地資本内循環、とばし、安保依存の他律発想から生まれる科学的検証を無視した動物頭脳力去勢体質が原因

(1) 農耕民族と狩猟民族とは天と地ほど異なっている資本主義のとらえ方

地中の根に頭脳機能を持ち画一的なレンガ積み工法で限られた母胎内の曼陀羅循環空間の中で梢と葉を茂らせる島国型農耕民族には、頭を空中におき未知の宇宙空間を飛び回って獲物を捕る狩猟民族のような波作り頭脳機能…未知空間に存在する万有引力の法則、相対性原理、核エネルギー、宇宙の法則などの自然科学から生まれた「自然」と「人」を律する運動法則・知・**regulation** を生かして宇宙 **value** から戦略エネルギーを創り出す「資本主義の本質」を理解する遺伝子そのものを持っていない。

この動けない、動かない、波作り型資本主義の本質をよく理解できない「根」に頭脳を持つ村の歩兵型・島国型の農耕民族が、狩猟民族との交わりによって一時的に蓄えた富を無防備な東京の永田町・霞ヶ関に集中した(させられた)ことによって、東京は第二次世界大戦後再び狩猟民族の標的とされて空爆され、歩兵玉砕から頭脳機能障害への危機を迎えている。

(2) 第2次大戦後、証券法導入当初から村の水車の歩兵空間に閉じ込められてきた日本の証券・資本市場メカニズムの欠陥

- ① 資本市場抜き村のバザール(交換所)として作られた証券市場
- ② 歪められた証券行政機能 ……廃止されてしまった証券・資本市場 **control** 機能 ……MOF 証券局(1964~1998) ……投機も投資も否定する資金分配管理型間接金融システム支配下の証券市場
- ③ 自然科学・社会科学一体の原因解明忌避……ペコラ委員会解明放置…
…日本では、誰も読まないままのペコラ委員会審問記録……**data** 記録消失破棄、科学的解明頭脳機能低下、引きずる原爆後遺症 (崩れる接ぎ木、砂上の楼閣型基盤の揺らぎ)

- ④ 原発型証券、金融、資本競争市場、国防メカニズムの欠落……吹き飛ばされてしまった幻の性善説、エンジン機能無きグライダー操縦型行政裁量調整管理型防護ダム機能の崩壊……裸の農耕民族に直接襲いかかる原発型証券、金融、資本市場メカニズムの嵐、原因解明意欲、対応力の喪失、放射能直接被爆障害発生……内渦ブラックホールへ
- ⑤ 国家資本の主役であるべき戦略エネルギーの根源となる投資資本、産業、税政策不在……財政、金融主導による資金分配型経済政策の行き詰まり……未来投資、未来産業、政策欠落による動物型資本再生エネルギーの枯渇
- (3) 誰も報じなかった日本の水車型バザールメカニズムの欠陥についての椎名、宮沢国会論争……証券・資本市場原発論(椎名)……宇宙原発に素手で立ち向かう原発実践理論を学ばない農耕型社会の危機
- ① マネーと株式の投機・流通の場と化した本来知の創造と戦略エネルギーの源となるべき証券取引所の機能不全……育たない次世代産業動物活力……再生を阻む植物型弱子化循環
- ② 長期資本投資戦略視点を失った資金繰りだけの中央銀行、財政・金融システム……(零金利、低体温、無気力、無反応社会) ……資本中央銀行機能の欠落
- ③ 狩猟民族に喰われる農耕民族が蓄積した植物性金融資産
- ④ 原爆恐怖症が生んだ動物頭脳競争生命力を殺す村の競争規制……行政管理(not control)法の高まり……(去勢鎖国法) ……村人の不正排除と公正競争推進のための動物集団のイエローカード(不公正 regulation)法の混同……推進コントロールを秩序管理と誤解した農耕民族の悲劇

(4) 自然科学まで水車型国家メカニズムに封じ込められ、世界の知から取り残されつつある日本

……自然科学・社会科学一体の「知」で「戦略エネルギー」を創り出す欧米型「資本主義市場経済メカニズム」、これを追いつける中国型「社会主義市場経済メカニズム」とは対照的に、国家としての頭脳システムが確立できないまま「知」の退化を招き、世界の資本主義市場経済メカニズムに翻弄されつつある日本

6. 同形異義語 (homograph) を寄せ集めて作ったインフラメカニズムの偽装による評価、出力、計算のゆがみ、メカニズム欠陥の隠蔽 ……トバシを民主主義、サラ金型財政経済を資本主義とする「頭脳言語思考障害国家」

日本の悲劇は、国際化する証券、金融、資本市場競争メカニズム用語の断片を、本来例外として使われている同形異義語(homograph)を使って繋ぎ合わせた日本独特の行政裁量、調整、管理型の実質鎖国メカニズムを作り上げ、国際的な市場経済競争圧力をうまくかわしてきたと錯覚していることにある。

問題は、この同形異義語を使った「かわし」「とばし」によって隠蔽してきた財政、年金等の経済問題よりはるかに深刻な民族自律の精神までもが失われたことにある。

具体的には、国家自律のために不可欠な頭脳・経済・社会構造言語……民主主義・資本主義・公益・証券概念・信託・法・マーケット・コントロール等の外来翻訳用語がエンジンメカニズムの機能を果たさず恣意的に分断逆用され、長期的繁栄に欠かせない知の発展を妨げ、自らの未来収益を収奪する頭脳言語障害メカニズム国家になって、国家再生を自ら阻んでいることに気付いていないことにある。

- ……空文化、逆用されている証券法規制メカニズム（資本主義を偽装する証券概念・法…）
- ……educated incapacity（役に立たないつまみ喰い分断教育）
- ……歪められた麻薬的劣情煽り資本主義社会へ（野獣化社会）

7. 日本再生に必要な基本設計原則 ……絶対平和、天地資本に依存する村社会閉じこもりから世界との交流へ

(1) 与えられた天動説空間の中でクリーン、安全、安定に暮す鎖国型の水車型経済システム依存から、リスクのある宇宙、地球全体の自然科学、原子力エネルギーを活用するグレイ空間の中で生きる方法を考えること ……先ずはアメリカ大恐慌・ペコラ委員会の教訓と中国型社会主義市場経済メカニズムへの転換の英知……原因解明から未来の姿を画く自然科学・社会科学と言語一体の改革の歴史を通して日本の軍事敗戦、資産バブル、頭脳障害、財政破綻の原因を検証することから始まる。

(2) 考えてみると日本は、本来「生き残るため」に必要な「非戦」の知恵を説いた孫子の哲学を忘れ、目先の殲滅型戦闘技術論に溺れ、真珠湾攻撃→原爆、軍事敗戦を招いたあと、戦後の復旧には資本主義の本質とされる innovation を説いたマルクスの知恵、アメリカ speculation 型資本市場メカニズムの制御に欠かせない fundamentals of securities regulation の必要性を理解することなしに土地・株式価格の嵩上げによる資産バブルを引き起こし、金融敗戦を招いた。

さらに、バブル崩壊後は、安保、絶対平和論を盾にとばし多数決を「民主主義」と偽って、自ら去勢社会に閉じこもらざるをえないような頭脳敗戦を迎えつつある。

この3つの敗戦に共通するものは、明治開国以来外国文化を摂取するに当たって、その言葉のもとにある「時間的、空間的な知の深さ」を極めることなく、便宜的に短期的戦術用のシステム用語として利用するだけで、国家の命運をかけた本物の知を持っていなかったことにあるのではないだろうか。

これとは対照的に日本がその言語の一部を借用した「孫子」「マルクス」「証券規制原則」等の歴史的経験に裏打ちされた本物の言語哲学を生かした欧米、中国等は、戦争と平和の繰り返しの中で生きる人間集団には不可欠の自然科学・社会科学、文明文化一体の「知の蓄積力」を生かして躍進中であることを考えると、今後の日本にとっても「自らの知」を持ち蓄え、長期的国家基盤を確立することがいかに重要であるかを示している。

- (3) そしてこの翻訳文化に頼って「歩兵玉砕」「一億総懺悔」という結果を招いた「軍事敗戦」(1945年)から、財政・金融破綻、頭脳汚染、孫子とばし、未来絶望へと追い込まれつつある現在の「とばし無責任平和願望社会」を齎した共通の原因である「天地依存農耕民族風任せグライダー型他律(受け身)社会」からの脱出が再生への鍵となることが分かってくる。

そのためには「常時戦争と平和の緊張状態」にある国際社会の中で、奴隷にされないで生きていくための目、耳、頭脳力等動物的「知的活力」を備えた本物の自律言語で作られた国家の知的頭脳機能としての公機能を持つことが求められる。

- (4) そして従来、安定、安全に暮らす村の水車・グライダー空間内の調整、管理、取引仲介人の仕事としてきた天地胴元に仕えるブローカー・「農耕社会支配分配管理型」本丸の公機能（政治、行財政、金融、教育、報道……）から国際投資循環交流推進メカニズム全体の推進・control 責任を果たすことのできる **innovation** エネルギー創造エンジン付動物頭脳型、株式、資本、産業、文明文化交流メカニズムをリードする「動物集団リード型」ディーラー機能を持った公機能への転換を図る工夫をすることが必要となる。

(5) 退化する動物遺伝子の復活あつての日本再生

現在の日本は170年前の中国において発生した阿片戦争後、諸外国による租借統治を許した中国の苦難の歴史と通じている。

それは軍事力なき日本にとって「株式競争資本」が国民経済を支える貴重な富であることが十分に理解されないことに乗じて世界中の好餌とされ、その貴重な生命の根源部分が外資の手中に陥っているにもかかわらず、国家としての産業政策も、知的創造力育成策も、資本市場政策も租税政策もとられることなく傍観し、孫子とばしに頼って生きている知的分裂障害状態にあることである。

……すべてはまず退化する動物的五感力遺伝子を復活させ、世界の自由・競争の波に打ち克てる自らの頭脳公益軸を確立し、本物の日本型株式資本主義エンジン付自律メカニズムを作り、奴隷回避、徳政令回避、戦争回避に必要な知の蓄積を行い、ブラックホールから脱出できるか否かが鍵となる。

(6) アメリカ大恐慌から80年、21世紀版新しい資本主義、市場経済メカニズム作りへの参画

……日本は、自らの文明文化の産みだす知的産業競争力を生かして活躍するチャンスを迎えている。

以上

(参考)

日本を救う賢人の教え

1. 文字の間屋、飯を喰う字引と化した外来語をつまみ喰いする翻訳
学術が国を滅ぼす

福沢諭吉（学問のすすめ）

2. 論ずべき **agenda** を忘れて原発型証券市場メカニズムに素手で立ち向かう、
平和に埋没する楽天国家日本の危機

元参議院議員 椎名素夫（平成 12 年、16 年参議院議事録）

3. 産業・金融一体メカニズムで国家を再生させた米国と中国の頭脳競争哲学の
力

呉 天降（アメリカ大恐慌ペコラ委員会解説者と北京大学の変身指導者）

4. 唯物論弁証法哲学で 100 万頭企業養豚ベンチャーを成功させた企業家が語る
タテ社会規制依存国家日本の危機

曾我達夫（哲学の奨め、新資本主義論ほか）